

ホームページの定例研究会・講習会の技術資料において無償で公開している変位増分法 2 によるソフト「木造建築物の限界耐力計算 II ver.1」について、下記の改良を行ない、「木造建築物の限界耐力計算 II ver.2」としましたので、お知らせします。なお、ソフトの使用マニュアルは ver.1 のままで、変更はありません。設計者の責任のもとで、ご使用ください。

(改良内容)

- ① 各復元力特性シートの書式設定等が変更できるように、全てのセルの保護を外した。
- ② 各復元力特性シートの項目が変更できるように、全てのセルの保護を外した。なお、「復元力集計」シートにおいて、各復元力特性シートの合計欄のセルが参照されているので、変更する場合はこのことに留意する必要がある。
- ③ 「合板等」、「合板小壁」および「筋違」の復元力特性シートで 1/15 まで入力すると、「復元力集計」シートの 1/15 にこの値が入ってしまう。ここは 0 になるように補正することが必要。1/15 欄に誤入力されても、「復元力集計」シートでは 0 となるように修正した。
- ④ 「リブフレーム」の復元力特性シートにおいて、36×180 と 36×150 が選択できるように列を追加した。

http://www.mmjp.or.jp/jsca-kansai/kenkyukai_koshukai/kenkyukai_koshukai.html